

# わいわい ざうしがや新聞

創刊号  
平成24年8月

## 『第一回まちづくり講演会&写真さんぽ』開催しました!

平成24年7月22日(日)、第一回まちづくり講演会と写真さんぽを開催いたしました。わいわい初のイベントでしたが、住民の方をはじめ予想よりも多くの方々にご参加いただきました。お忙しい中お時間割いてお越しくございました参加者の方々、ありがとうございました。

### まちづくり講演会

#### 『まちづくりのはじめかた』

NPOたいとう歴史都市研究会の椎原さんより、谷中まちづくりの立ち上げ期のお話を伺いました。



NPOたいとう歴史都市研究会  
椎原晶子さん

そのまちらしさは、一度なくなったら取り戻すことが難しいもの。だから、**自分たちの今までの暮らし方の良さを、新しく入ってくる人に受け継いでもらうことが大事。**

そのためには、自分たちのまち・暮らしの特徴を明文化し、**まちの不文律**をつくること。

“いつものあいさつ” “路地の落ち着いたき” “豊かな緑” などなど、**どんなまちにもヒントになることがあるはず。**  
まずは一人ひとり、一軒一軒の動きから、**住民の皆さんの“困った時”が、まちづくりをはじめる時です。**

### 講演会 Q&A

椎原さんのお話の後、住民の皆さんから椎原さんへ、質問が飛び交いました。住民の皆さんの雑司が谷に対する思いが伝わってきました。その中から少し紹介いたします。

**Aさん**「雑司が谷は、昔はもっと広がった。谷中はどうだったのか。」

**椎原さん**「谷中も中世はもっと広い範囲を示していた。現在は谷中1~7丁目と桜木地区が谷中地区だが、活動する中で厳密には気にしない。町内会は江戸時代の町割りがベースになっている。」

**Bさん**「建物の保存について、イギリスにはナショナルトラストが存在するが、日本はどうなっているのか？」

**椎原さん**「日本にも協会や団体はあるが、建物の居住者が寄贈するかどうか。居住者の方が元気なうちから親しい関係を築いていくこと。そうすれば、実際に建物をどうしようかという時にお話が聞ける。」

### 写真さんぽ

講演会后、雑司が谷のまちで写真さんぽをして、撮ってきた写真をグループごとに発表しました。住民の方、外部から訪れた方、年配の方、学生等、参加者の層が幅広く、まちを見る視点の違いから、お互いに発見があったようです。

#### 《感想紹介》

**外部の方**「昔からの雰囲気を引き継いでいるのが魅力」  
「皆工夫して**自分の周りに緑**を取り入れようとしている」

**住民の方**「緑の良さを外の人にも感じてもらえて嬉しい」  
「雑司が谷は魅力的な古い建物であふれているが、**いつなくなってしまうかとはらはらしている**」  
「路地等は危険な面もあるが、それらを含めた**雑司が谷の良さを守ってほしい**」



椎原さんが聞いたところによると、**植木棚がきれいなまち**は、暮らしに手をかけ、**お互いを見守りあう関係**ができているのだそう。雑司が谷にも植木棚のきれいなお家がたくさんありますよね。



次回のわいわいぞうしがやは・・・

・ 9月30日（日）



## イベント第2弾開催！！



今回は写真さんぽをメインに行います。テーマは「子どものあそび場」です。子どものまち遊びに詳しい方をゲストにお招きして、子どもはまちのどんなところで遊ぶのかを学び、実際に雑司が谷にはどんな遊び場があるのかを探しに行つて、写真におさめます。※後日、イベント詳細のチラシを配布する予定です。※参加希望の方は下記連絡先までご連絡ください。（尚、まち歩きのため定員があります。予めご了承ください。）

・ 10月末～12月末

## 「雑司が谷のいいところ」写真展開催！！

場所：雑司が谷案内処2F ギャラリー



“雑司が谷のいいところ”写真募集中！！



住民の皆さんそれぞれが思う“雑司が谷のいいところ”を皆さんで共有しませんか？

“思い出の場所” “なじみのお店” “密かにすてきななど思っていたお家” などなど…

「これは！」という一枚に、どこがいいと思うのか自分なりの言葉・コメント（詩的な文でもいいです）を添えて、下記アドレスまでデータで送るか、案内処のわいわいポストに写真を投函してください。

### 《応募方法》

わいわいポストで応募する方

案内処内に、わいわいポストと応募用紙を設置してあります。応募用紙に必要事項を記入の上、写真を貼ってポストに投函してください。写真はL版サイズでお願いします。

データで応募する方

メール本文に下記3点をお書きの上、[yyzoshigaya@gmail.com](mailto:yyzoshigaya@gmail.com)まで写真をお送りください。

①写真のタイトル

②被写体のどんなところが“いいところ”か、自分なりの言葉で紹介

（短くても、長くても、思い出でも、詩的な文でも構いません。ご自由にお書きください。）

③撮影者様のお名前（今年度の活動報告等をさせていただきたいので、可能であれば住所もお願いします。）

↓応募用紙見本

タイトル
写真
コメント
...

※**応募締切：平成24年10月14日（日）**皆さんのすてきな写真、楽しみにしています！わいわい！

### “わいわいぞうしがや”って何？

日本女子大学の学生が集まって立ち上げた、雑司が谷のまちを考えるグループです。豊島区まちづくりバンクの助成を受けて、今年度から徐々に活動を始めています。わいわいと一緒に活動したいという方、ぜひご連絡ください。

わいわいぞうしがや

mail [yyzoshigaya@gmail.com](mailto:yyzoshigaya@gmail.com)

tel 03-5981-3452（日本女子大学薬袋研究室）

Twitter @yyzoshigaya

Blog [yyzoshi.exblog.jp](http://yyzoshi.exblog.jp)

《編集後記》わいわい初のイベントは、参加者の皆さんに支えられながらなんとか無事に（？）開催することが出来ました。参加者の皆様、本当にありがとうございました。次回はもうちょっと上手にやれるよう頑張ります！話変わって…先日、同じく雑司が谷で活動されている親子サークル“ハリティー”さんのイベントお手伝いに行きました！子どもたちが段ボールに思い思いの絵を描き、それを列車にして雑司が谷のまちを練り歩くという内容でした。夏休みに入った子供たちの爆発的なはしゃぎっぷりにはビックリでしたが、完成した列車はカラフルでとても楽しいものになりました。ハリティーの皆さん、ありがとうございました。

編集：わいわいぞうしがや 泉水

わいわいぞうしがやの仲良しさん

としま案内人雑司が谷さん・緑のこみちの会さん・ハリティーさん

いつもありがとうございます！